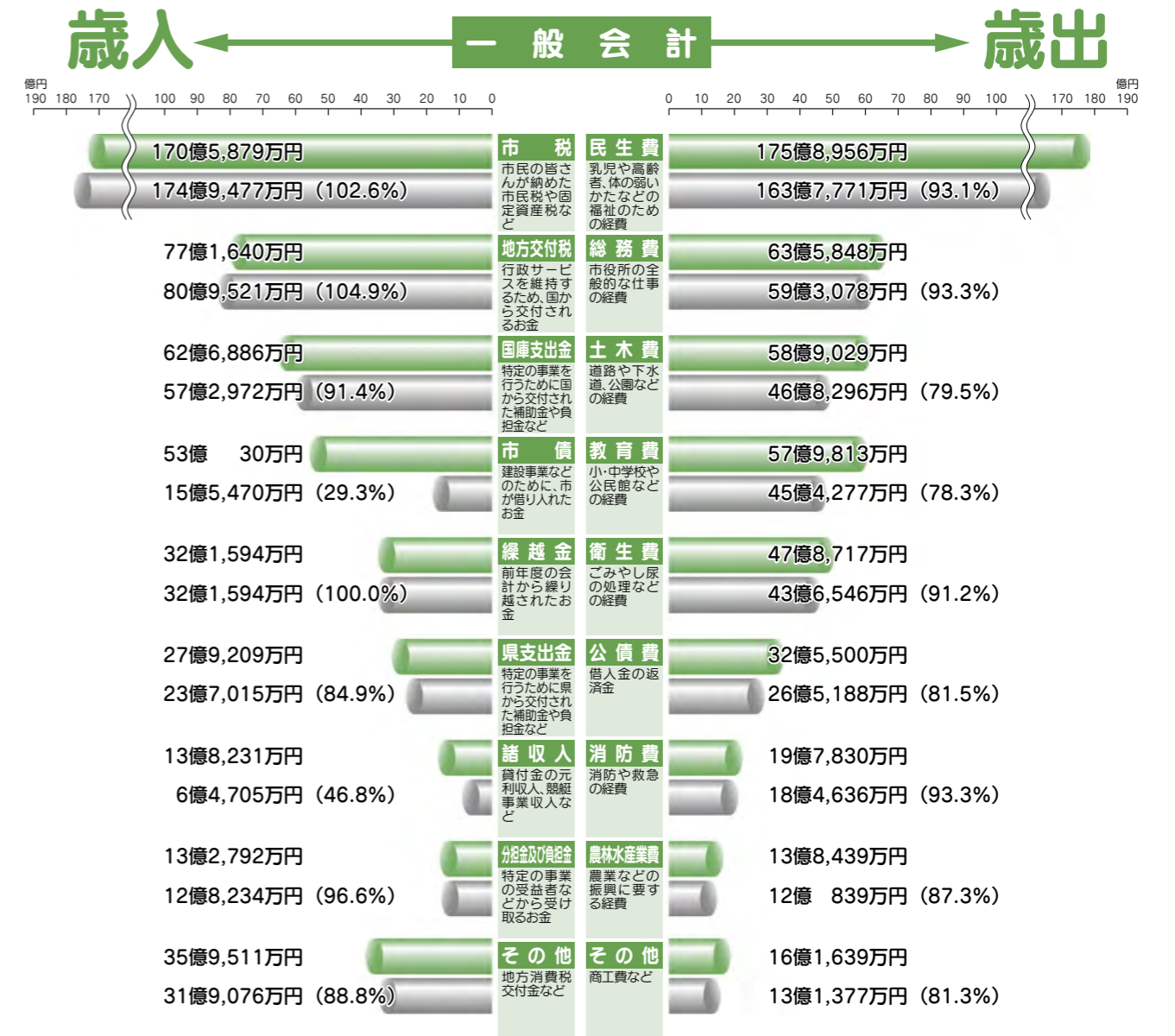


深谷市の財政状況

平成 24 年度（平成 25 年 3 月 31 日現在）の市の財政状況をお知らせします

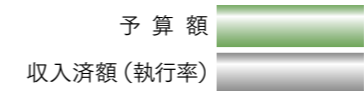
市では、まちづくりのために、市民の皆さんに納めていただいた税金や市債（市の借入金）などを財源とし、効率的な財政運営に努めています。どのような事業にどのくらいお金が使われたかという、『市の家計簿』ともいべき財政状況を年 2 回に分けてお知らせしています。

今回は、平成 24 年度（平成 25 年 3 月 31 日現在）の財政状況をお知らせします。



歳入予算額・486億5,771万円
 収入済額・435億8,062万円
 執行率……89.6%

〈表の見方〉



※数値は表示金額未満を四捨五入しているため、合計額と一致しない場合があります。
 ※予算額は、平成23年度の繰越分を含みます。

予算額に対して、収入済額と支出済額のそれぞれに差がありますが、これは出納整理期間の収入・支出が加算されていないためです。決算の数値は、出納整理期間終了後の数値になります。

（注）出納整理期間…年度内に終了した取り引きについて、4月1日～5月31日までに現金を収入・支出した場合は、年度内に収入・支出したものと出納を処理することができます。この期間を出納整理期間といいます。

歳出予算額・486億5,771万円
 支出済額・429億2,009万円
 執行率……88.2%

〈表の見方〉



企業会計

水道事業		(税込み)	
区分	予算額	収入済額	支出済額
収益的収支	収入	26億7,538万円	26億4,868万円
	支出	23億2,664万円	21億8,674万円
資本的収支	収入	33億1,154万円	26億7,171万円
	支出	73億1,384万円	41億1,290万円

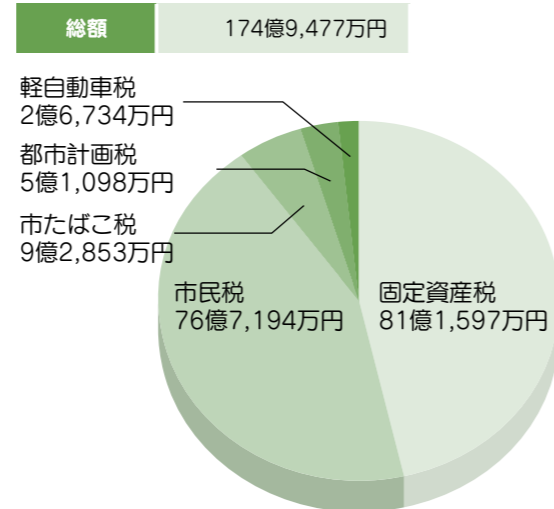
下水道事業		(税込み)	
区分	予算額	収入済額	支出済額
収益的収支	収入	17億1,162万円	17億 514万円
	支出	17億8,828万円	17億 399万円
資本的収支	収入	11億7,043万円	10億2,238万円
	支出	19億 505万円	16億9,047万円

市債（借入金）

会計名	残高
一般会計	254億5,728万円
農業集落排水事業特別会計	55億9,219万円
国済寺土地画整理事業特別会計	16億4,854万円
岡中央土地画整理事業特別会計	1億2,248万円
武川中央土地画整理事業特別会計	2,632万円
小前田駅北西部土地画整理事業特別会計	2億1,935万円
水道事業会計	80億8,668万円
下水道事業会計	167億7,590万円
合計	579億2,874万円

市民1人当りに換算すると **396,259円**
 1世帯当りに換算すると **1,036,107円**
 (人口：146,189人 世帯数：55,910世帯 [3月31日現在])

市税の内訳



※数値は表示金額未満を四捨五入しているため、合計額と一致しない場合があります。

特別会計

区分	予算額	収入済額	支出済額
国民健康保険	167億8,641万円	155億2,095万円	158億7,465万円
後期高齢者医療	21億5,937万円	20億4,711万円	20億2,719万円
農業集落排水事業	8億3,687万円	8億1,297万円	7億6,368万円
国済寺土地画整理事業	9億4,030万円	3億5,492万円	7億4,607万円
岡中央土地画整理事業	9,074万円	5,822万円	4,011万円
武川中央土地画整理事業	8,328万円	8,796万円	8,118万円
小前田駅北西部土地画整理事業	8,859万円	7,569万円	6,906万円

市有財産

市が保有する公有財産のうち、土地は3,153,993㎡、建物は399,980㎡です。庁舎、学校、公園などの行政財産と、それ以外の普通財産とに分かれます。

公有財産	区分	土地		建物
		面積	㎡	
土地および建物	行政財産	2,874,789㎡	378,574㎡	
	普通財産	279,204㎡	21,406㎡	
	計	3,153,993㎡	399,980㎡	
物権（地上権）	有価証券（テレビ埼玉ほか株券）		2,875万円	
	出資による権利（埼玉県信用保証協会出せん金など11件）		57億 466万円	
	債権		1億4,644万円	
基金（行政振興基金など20件）			168億8,181万円	

平成 24 年度の一般会計予算は、増加の一途をたどる各種社会保障関連経費、道路等の都市生活基盤の整備に要する経費、花園公民館や学校給食場の建設に係る経費を計上し、486 億 5,771 万円となりました。

国レベルでの経済状況は、緊急経済対策により、活力を取り戻す機運がみられますが、地方都市の経済状況は依然厳しく、税収をはじめとする自主財源の大きな伸びは期待できません。また、平成 28 年度から合併団体に対する交付税算定における優遇措置の段階的縮減が始まり、市の財政運営は一層厳しさが増すものと予想されます。

このような厳しい社会状況下ですが、深谷市がキラリと光る輝きを放つ魅力的なまちとして一層発展できるよう、引き続き市民の皆様の声に耳を傾けながら、限りある財源を有効活用できるよう、事業の選択と集中、徹底した無駄と非効率の排除を図り、財政運営を行ってまいります。

深谷市長 小島 進